

趣味一番人気で 旅行の形多様化

高齢者の趣味で一番人気は「旅行」——これは複数のアンケート結果から明らかだ。

長時間の移動や旅先での急な体調変化を考えると、海外よりも国内旅行に目を向ける人が多い。高齢者を中心とした会員組織を持つソーシャルサービス（東京都千代田区）が行った国内旅行に関する調査では、価格以外で重要視するポイントとして「食事がおいしいこと」「温泉があること」に加えて「移動スケジュールにゆとりがあること」との回答が多く挙げられた。旅行には、希望に合わせて行先や交通手段などを自由に組み立てられる「個人旅行」と旅行

アクティブシニア向け

「ゆとり旅」キーワード 歩行時間やバスに工夫

会社が企画した参加募集型の「パッケージツアー」があるが、同調査によると「個人旅行とパッケージツアーを選ぶ割合は半々で、2極化している」という。パッケージツアーの中でも、高齢者が参加しやすいよう工夫したツアーが誕生している。

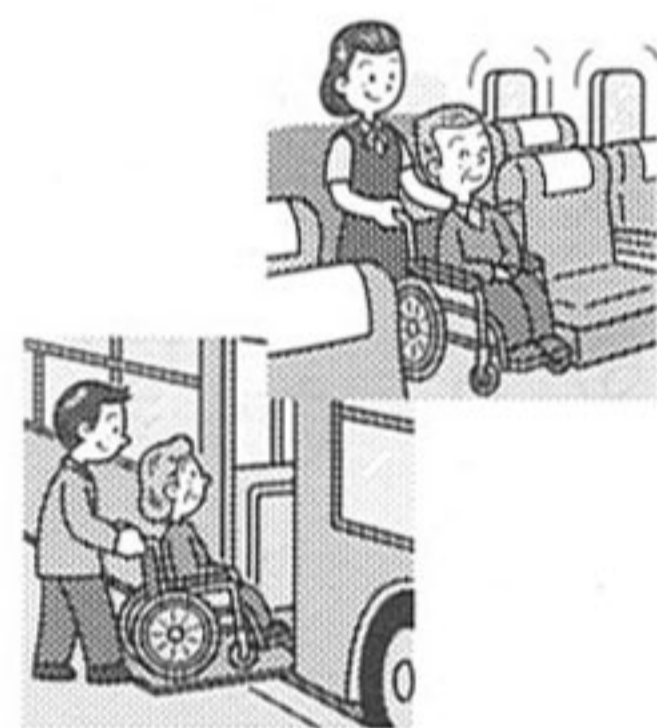
一般のパッケージツアーに高齢者が参加する場合、「ほかの参加者のペースについていけない」「迷惑をかけないか」など不安に思う人は少なくない。一方で前述のバリアフリー旅行は、杖や車椅子などバリアフリー環境やなんらかのサポートが必要な人向けのツアーのため、健全な高齢者には抵抗感がある——。そんな声から、旅行各社から販売されているのが、高齢者向けの「ゆとり旅」。スケジュールやバスに工夫し、時間

的空間的にゆとりを持たせたものだ。

クラブツーリズムは3年ほど前に70歳以上の「ゆったり旅」を商品化。「長い距離は歩かない」ことが特徴で、1日1時間30分程度の歩行時間に抑える。そのほか2泊以上の場合は同じホテルでの連泊にこだわる。

ジェイティービーは、時間的なゆとりと少人数制、宿泊施設や食事にもこだわった高級ツアーを販売している。三越伊勢丹ホールディングス（東京都新宿区）は、旅行専門の子会社を設立し、高齢者をターゲットに据えた高級ツアーを販売している。特に移動に使うバスが特徴。45席設置することができると大型バスを10席のみに改造し、ゆとりある空間にするなど、各社工夫を凝らしている。

【高齢者向け旅行と対象の目安】

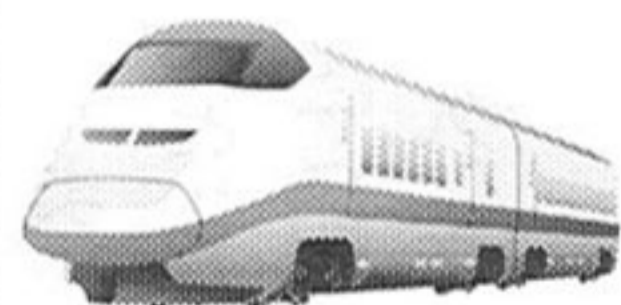


「介助ガイド付旅行」
(パッケージ型、個人型)

杖・車イスでも安心
「バリアフリー旅行」
(パッケージ型)



行程にゆとりある
「ゆとり旅」
(パッケージ型)



一般向け
パッケージ旅行
個人旅行



健常者

要介護者